



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年2月8日  
上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社  
 コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長 (氏名) 高橋 貞雄 TEL 06-6969-1131  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,622	0.5	1,242	58.2	1,268	56.7	873	△7.4
30年3月期第3四半期	35,454	△2.1	785	5.1	809	3.6	943	△1.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第3四半期	99	57	—	—
30年3月期第3四半期	106	37	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	72,742	—	32,576	—	44.8	—
30年3月期	70,188	—	32,579	—	46.4	—

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 32,576百万円 30年3月期 32,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
30年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	—
31年3月期	—	40.00	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	46,200	0.7	1,000	25.2	900	8.1	600	△38.1	67	80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	9,451,169株	30年3月期	9,451,169株
31年3月期3Q	675,002株	30年3月期	673,157株
31年3月期3Q	8,777,133株	30年3月期3Q	8,871,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な政策に起因する米中間の貿易摩擦により、国内外の景気への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

医薬品業界では、薬価制度の抜本的改革をはじめとして後発医薬品の使用促進策の強化など、医療費適正化諸施策が引き続き推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大、企業間競争の激化など収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品および輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は356億22百万円と前年同四半期と比べ1億67百万円(0.5%)の増加となりました。利益面では製造原価の低減等により、営業利益は12億42百万円と前年同四半期と比べ4億56百万円(58.2%)の増加、経常利益は12億68百万円と前年同四半期と比べ4億58百万円(56.7%)の増加となりました。一方、四半期純利益につきましては、前年同四半期は特別利益に保有不動産の固定資産売却益を計上したため、8億73百万円と前年同四半期と比べ69百万円(7.4%)の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、建物及び構築物(純額)や投資その他の資産の減少等があったものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により前事業年度末から25億54百万円(3.6%)増加し、727億42百万円となりました。

負債は、賞与引当金の減少等があったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金、長期借入金の増加等により前事業年度末から25億57百万円(6.8%)増加し、401億66百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加があったものの、その他有価証券評価差額金の減少等により前事業年度末から3百万円(0.0%)減少し、325億76百万円となりました。

なお、自己資本比率は44.8%と前事業年度末に比べ1.6%の減少となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、現時点では平成30年3月期決算発表時(平成30年5月10日)に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,457	7,060
受取手形及び売掛金	21,979	22,595
商品及び製品	8,559	8,370
仕掛品	41	45
原材料及び貯蔵品	1,037	1,294
その他	293	308
流動資産合計	37,368	39,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,766	10,445
土地	8,891	8,887
その他(純額)	5,330	6,441
有形固定資産合計	24,988	25,774
無形固定資産	1,005	818
投資その他の資産	6,825	6,476
固定資産合計	32,820	33,069
資産合計	70,188	72,742
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,787	9,219
電子記録債務	3,000	3,097
短期借入金	6,570	7,029
未払法人税等	268	73
賞与引当金	900	456
その他の引当金	347	386
その他	5,657	6,293
流動負債合計	25,532	26,556
固定負債		
長期借入金	8,912	10,551
退職給付引当金	1,364	1,246
その他の引当金	256	268
その他	1,543	1,544
固定負債合計	12,076	13,610
負債合計	37,608	40,166

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,409	12,583
自己株式	△2,155	△2,160
株主資本合計	36,022	36,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,153	983
土地再評価差額金	△4,595	△4,599
評価・換算差額等合計	△3,442	△3,615
純資産合計	32,579	32,576
負債純資産合計	70,188	72,742

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	35,454	35,622
売上原価	25,228	25,176
売上総利益	10,226	10,446
返品調整引当金戻入額	-	0
返品調整引当金繰入額	0	-
差引売上総利益	10,226	10,446
販売費及び一般管理費	9,440	9,203
営業利益	785	1,242
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	64	71
保険関係収益	112	107
その他	114	127
営業外収益合計	307	321
営業外費用		
支払利息	165	169
生命保険料	96	98
その他	20	27
営業外費用合計	283	295
経常利益	809	1,268
特別利益		
固定資産売却益	567	-
特別利益合計	567	-
特別損失		
固定資産売却損	-	3
固定資産除却損	29	11
特別損失合計	29	15
税引前四半期純利益	1,347	1,252
法人税、住民税及び事業税	235	206
法人税等調整額	168	172
法人税等合計	403	378
四半期純利益	943	873

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。